

達第九十九號

水路圖誌供給規則第一條及第四條七項中東洋燈臺表ノ下ニ「毎年曆」ノ三字ヲ追加ス

明治二十五年十二月六日 海軍大臣 子爵仁禮景範

達第百號

秘密圖書測器海圖出納規程中左ノ通改正ス

明治二十五年十二月六日 海軍大臣 子爵仁禮景範

第十四條第十五條ヲ左ノ通改ム

第十四條 兵備品會計官吏ハ第九號様式ニ準シ前年度間ノ秘密圖書、測器、海圖ノ出納計算書及第十一號受拂供用代價仕譯書ヲ作り之ニ第十號出納證明書ヲ添ヘ年度後三ヶ月以内ニ會計監督部ニ出シ會計監督部ハ之ヲ調査シテ會計検査院ニ送付スヘシ但兵備品會計官吏交替ヲ爲シタルトキハ事務引繼ノ日ヲ以テ區分シ本條ノ例ニ依リ計算書ヲ調製差出スヘシ

百十五 海軍

第十五條 出納計算書及受拂供用代價仕譯書又出納證明書等ニ關シ會計検査院ニ送付スル書類ハ總テ會計監督部ヲ經由スヘキモノトス

第十一號受拂供用代價仕譯書式ヲ別紙ノ通加フ

0591

秘密圖書、測器、海圖受拂供用代價仕譯書

一金	元	受	高
内	譯		
金	前年度ヨリ越	高	
金	買	入	高
金	保管ノ	轉換	
金	何	々	
一金	仕	拂	高
内	譯		
金	賣	却	
金	何	々	
金	何	々	
一金	百十六	海	軍
残	高		
内	譯		
金	供	用	中
内			
金	何	軍	産
金	何	々	
金	在	庫	
右之通相違無之候也			
明治	年	月	日
會計検査院長宛			
兵備品會計官吏官姓名㊦			

0592

改正

明治四十年  
海軍統隊  
子爵仁禮  
子爵次正

達第百一號

海軍統隊採式別冊ノ通改正ス

但別冊ハ別ニ頒布ス

明治二十五年十二月七日

明治八年丙午第十九号

海軍大臣 子爵仁禮景範

百十七

海軍

0593

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

邊第百二號

吳鎮守府所管軍艦築案ヲ警備艦ト定メラル

明治二十五年十二月八日

海軍大臣 子爵仁禮景範

百十八

海軍

0594



明治三十二年  
十月十九日  
日本書紀  
上

達第百三號

水路部處務細則中第十九條左ノ通改正ス

明治二十五年十二月十五日

海軍大臣 子爵仁禮景範

第十九條 製圖彫刻印刷掛ノ執務時間ハ七月十一日ヨリ九月十日マテハ一般ノ執務時  
間ニ一時間ヲ增加ス

達第百四號

明治二十四年十一月達第百二十九號ヲ左ノ通改正ス



明治二十五年十二月十五日

海軍大臣 子爵仁禮景範

各鎮守府造船部兵器部及造兵廠職工ノ服業時間ハ左表ニ依ルヘシ但戰時事變ニ際シ本  
表外ノ増服業ヲ爲サシムルトキハ其都度令達ス

服業時間

百十九

海軍

一月廿六日ヨリ	午前六時四十五分	起業
二月廿五日マテ	午後四時三十分	停業
二月廿六日ヨリ	午前六時三十分	起業
四月三十日マテ	午後五時	停業
五月一日ヨリ	午前六時	起業
十月廿日マテ	午後四時三十分	停業
十月廿一日ヨリ	午前六時四十五分	起業
一月廿五日マテ	午後四時十五分	停業
一本表ノ時間中午前十一時三十分ヨリ正午マテヲ午餐時間トス		
一製圖職工ハ本表定時限ヨリ一時間後起業スルモノトス		

一公暇日ノ服業及本表外二時間以内ノ増服業ハ鎮守府司令長官及造兵廠長限リ之ヲ命  
シ施行セシムヘシ

一鎮守府司令長官及造兵廠長ニ於テ臨時本表外二時間ヲ超過スル増服業ヲ爲サシムル  
トキハ其都度工事ノ事項時間及日數ヲ記シ届出ツヘシ但工事ノ種類ニ依リ常ニ二時  
間ヲ超過スル増服業ヲ爲サシムルヲ要スルモノハ豫メ届出置クコトヲ得



明治二十五年  
十二月十五日

達第百五號

各鎮守府造船部兵器部造船材料倉庫及造兵廠執務時間左ノ通定ム

但佐世保鎮守府造船部ハ職工ヲ使役スルマテ本年閣令第六號ノ執務時間ニ據ルヘシ

明治二十五年十二月十五日

海軍大臣 子爵仁禮景範

	高等官及官廳詰並造船材料倉庫判任官	工場詰判任官
一月廿六日ヨリ	午前八時三十分ヨリ	午前六時四十五分ヨリ
二月廿五日マテ	午後四時三十分ニ至ル	午後四時三十分ニ至ル
二月廿六日ヨリ	午前九時ヨリ	午前六時三十分ヨリ
四月三十日マテ	午後五時ニ至ル	午後五時ニ至ル
五月一日ヨリ	午前八時三十分ヨリ	午前六時ヨリ
十月廿日マテ	午後四時三十分ニ至ル	午後四時三十分ニ至ル
十月廿一日ヨリ	午前八時十五分ヨリ	午前六時四十五分ヨリ
一月廿五日マテ	午後四時十五分ニ至ル	午後四時十五分ニ至ル

一土曜日モ本表ニ據ル  
 一製圖工場詰及製圖掛判任官ハ本表定時限ヨリ一時間後出勤スルモノトス

百二十  
海軍

0596

達第百六號

平時水雷艇左ノ區域外ニ出航スルトキハ水雷隊攻撃部司令又ハ艇長ヨリ電報電信ヲキテヲ其發着ヲ海軍大臣官房ニ報告スヘシ

明治二十五年十二月二十二日

海軍大臣 子爵仁禮景範

横須賀

劍崎ト洲崎トノ結合線以外

吳

宮島瀬戸 那沙美瀬戸 大野瀬戸  
早瀬ノ瀬戸 隠戸ノ瀬戸

佐世保

軍港外

竹敷

大口灣外

達第百七號

糧食品計算帳簿報告書様式中第五號ヲ別紙ノ通改正ス

明治二十五年十二月二十二日

海軍大臣 子爵仁禮景範

百二十一

海軍

0597





達第百八號

海軍軍人俸給及手當金支給細則中左ノ通改正ス

明治二十五年十二月二十四日

海軍大臣 子爵仁禮景範

第四十一條中「乘艦若クハ」ノ五字ヲ刪ル

第四十二條中「職」ノ一字ヲ刪ル

第四十三條第二項、第六項及第八項ヲ左ノ通改メ第七項ヲ刪ル

二 水雷船ニ乗組軍港外若クハ定碇泊港又ハ所屬本艦碇泊港外ニ於テ十二時間以上

航行スルトキハ拔錨發航ノ日ヨリ軍港若クハ定碇泊港又ハ所屬本艦ニ歸到ノ日

マテ支給ス但練習其他沿岸巡視等ノ爲メ乗組ノ者ハ此限ニアラス

六 艦船乘員陸地療養若クハ私事ノ故ヲ以テ在艦セサルトキハ退艦ノ日ヨリ歸艦ノ

前日マテ支給セス

八 官有船舶若クハ官ニテ借入傭入タル船舶ニ乗組ヲ命シ運轉其他ノ職務ヲ執ラシ

ムルトキハ乗船ノ日ヨリ退艦ノ日マテ支給ス

達第百九號

海軍内國旅費規則中左ノ通改正ス

明治二十五年十二月二十四日

海軍大臣 子爵仁禮景範

第五條但書「日當ヲ給ス」ノ下ニ左ノ通加フ

陸路一里汽車路二哩海路二哩以上ノ端里數ニハ日當一日分ヲ給ス各種ニ跨ルトキハ

合計シ端里數ヲ定メ其陸路ノ端里數ハ總テ汽車路、海路ニ改算スヘシ此場合ニ於テ

ハ陸路一里ヲ汽車路、海路二哩トス

第十二條第二項中「船舶ニテ」ヲ「船舶ニ乗組ヲ命セラレ」ト改メ第四項中「二日以上」ノ下

ニ「ニ涉リ」ノ三字ヲ加ヘ第三項ヲ左ノ通改ム

官有船舶又ハ各艦ニ於テ借入傭入タル船舶ニ便乗ヲ命シ轉勤轉乘セシムルモノハ官

ヨリ賄フ爲サ、ムルトキニ限り日當ヲ給ス

第十四條中「辭令書受領後三十日以内」ノ下「若クハ乗組艦所轄ヲ轉シ」ノ十二字ヲ刪リ

第三項中「豫備艦」ノ下ニ「非役艦」ノ三字ヲ加ヘ及第八項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

九 豫備艦非役艦ノ航海艦トナリタルトキ其所在地ヨリ東京ニ家族ヲ移轉セシム  
ルトキ

十 甲應在勤又ハ甲定禦艦乗組中就學ヲ命セラレタル者其所在地ヨリ東京ニ家族  
ヲ移轉セシムルトキ

第十八條ヲ左ノ通改ム

第十八條 水路測量出張ノトキ測地到着ノ翌日ヨリ發程ノ前日マテハ車馬賃ヲ給セ  
ス旅費等級四等以上ノ者ニハ日當一割増五等以下ノ者ニハ日當三割増ヲ給ス但甲地  
ヨリ乙地ニ移ルトキハ通常ノ旅費ヲ給ス

第二十四條第四項ヲ刪ル

送第百十號

艦隊校需用品定額表定備第五類中「網」及「鎗網」並知港事所屬艦隊需用品定額表定備第五類中「鎗網」ノ全部ヲ删除ス

明治二十五年十二月二十七日

海軍大臣 子爵 仁禮 景範

百二十四

0601